

令和7年度学校評価アンケート結果について

都立立川高等学校定時制課程
学校運営連絡協議会評価委員会

〔はじめに〕

立川高等学校定時制課程の学校評価は、経年変化を確認するため、平成10年度より質問項目を変えずに実施している。

平成26年度より、生徒の体罰と暴力に関する質問項目が全都立高校での実施が義務付けられた。

平成30年度より、保護者と教職員の質問事項に「教職員のライフ・ワーク・バランス」の取り組みに関する内容についての質問が義務づけられた。

令和4年度より、統合型学習支援サービス（Microsoft Office 365）活用した学校評価アンケート方法に変更とした。集計作業も『office365』を活用して業務の効率化を図った。

第一に、教員や生徒にはteamsにformsで作成したQRコードよりアンケートを実施した。

第二に、保護者には、アンケート案内にQRコードの画像を貼り付けたものを配布し、回答を得た。また、保護者連絡システムにformsのURLを貼り付け、こちらからもアンケートを実施できるようにした。

今年度の回答率は、	一昨年	昨年	今年	前年比
生徒	78.1%	⇒ 76.4%	⇒ 71.0%	-5.4%
保護者	21.9%	⇒ 32.9%	⇒ 30.0%	-2.9%
教職員	100%	⇒ 92.3%	⇒ 83.3%	-9.0%

であった。

昨年度比で回答率は減少した。保護者については依然として3分の1にも届いていないことから更に回答・回収方法を改善する必要がある。保護者をはじめ全体の回答率を上げていくために、来年度は、生徒・保護者との連携を更に深め、数値の上昇を目指していく。

<参考>

回答者数/生徒（教員）数…生徒アンケート71/100、保護者アンケート30/100、教員アンケート10/12
平均回答時間…生徒アンケート1分22秒（4分52秒）、保護者アンケート2分28秒（4分02秒）、教員アンケート3分06秒（7分27秒） ※（ ）内は昨年度の数値。今年度はアンケート回答時間が減少している。

1 生徒アンケート

(1) 過去との比較

①肯定の割合の高い（85%以上）項目	一昨年	昨年	今年	前年比
(2) 立高は自分の力を伸ばせる	79%	⇒ 78%	⇒ 87%	+9%
(4) 授業は分かりやすい	87%	⇒ 86%	⇒ 87%	-1%
②他に比べて肯定の割合が減った（5%以上）項目				
(15) 体罰や暴力をなくす取組	85%	⇒ 88.8%	⇒ 76.1%	-12.7%
(5) 教員は疑問や質問に的確に対応	88%	⇒ 89.7%	⇒ 81.7%	-8.0%
(3) 立高は他校にはない特色がある	83%	⇒ 81.3%	⇒ 76.1%	-5.3%
(12) 部活動の充実	74%	⇒ 75.7%	⇒ 70.4%	-5.3%

15項目中6項目（昨年5項目）について肯定の割合が増加した。9項目（昨年10項目）で肯定の割合が減少した。

2 保護者アンケート

(1) 過去との比較

①肯定の割合の高い（90%以上）項目	一昨年	昨年	今年	前年比
(1) 学校生活は将来にとって有益	91%	⇒ 98%	⇒ 93.3%	-4.5%
②他に比べて肯定の割合が減った項目は（6%以上）項目				
(13) 適切な健康や安全に関する指導	85%	⇒ 89%	⇒ 73.3%	-15.8%
(14) 施設・設備の整備	77%	⇒ 87%	⇒ 76.7%	-10.3%

16項目中3項目について肯定の割合が増加した。13項目で肯定の割合が減少した。肯定の割合が増加した項目は(9)一人一人を大切にされた進路相談の充実であった。

3 教職員アンケート

(1) 過去との比較

①肯定の割合の高い(100%)項目	一昨年	昨年	今年	前年比
(4) 分かりやすい授業の工夫をしている	93%	100%	100%	±0%
(9) 一人一人を大切にされた進路相談の充実	92%	92%	100%	+8%
(15) 体罰や暴力をなくす取組	85%	100%	100%	±0%
②他に比べて肯定の割合が低い(60%以下)項目	一昨年	昨年	今年	前年比
(12) 部活動の充実	46%	42%	40%	-1.7%
(11) 生徒会活動が活発	31%	42%	60%	+18.3%
(14) 施設・設備の整備	31%	50%	60%	+10%
(16) ライフ・ワークバランスの推進	39%	50%	60%	+10%

16項目中11項目について肯定の割合が増加した。2項目で横ばい、3項目で肯定の割合が減少した。

4 成果と課題

- ①前年度から肯定的な意見が増加した項目の割合は、生徒アンケートが**40%**(昨年33%)、保護者アンケートが**19%**(昨年81%)、教員アンケートが**69%**(昨年38%)であった。アンケート結果について、生徒においては肯定的な意見の割合が9項目において減少したが、その内7項目においては6%未満の減少に留まった。保護者においては、肯定的な意見の割合が13項目で減少したが、そのうち11項目は6%未満の減少に留まった。また、教員用において肯定的な意見の割合が11項目で増加、2項目において100%維持し、3項目において肯定的な意見の割合が減少、そのうち2項目が2%未満の減少に留まった。肯定的な意見の割合が過去10年間で**最高**であった項目は、生徒アンケートにおいて、項目(2)、(4)の2項目であった。逆に、肯定的な意見の割合が過去10年間で**最低**であった項目は、保護者アンケートにおいて項目(13)であった。これらのアンケート結果から、全体的には**現状維持程度の成果**であると分析する。
- ②項目(1)、(2)、(4)、(5)、(7)については肯定的な意見の割合が生徒・保護者は昨年度より微減ながら、生徒・保護者・教員の全てにおいて80%以上であった。その内、項目(4)分かりやすい授業については、生徒・保護者・教員の全てにおいて肯定的な意見の割合が85%以上であった。これらのことは、授業を大切に、学校が生徒の自己実現の場であるように**教員・生徒・保護者が一丸となって取り組んだ成果**である。
- ③項目(13)適切な安全に関する指導、(15)部活動の充実の2項目について、生徒・教員・保護者の肯定的な意見の減少が顕著であった。このことは、学校が安心・安全な場所であることに異を呈しており、早速改善を始めている。また、項目(6)、(12)についても生徒・教員・保護者の全てにおいて減少傾向であり、**より丁寧に親身な対応によって改善**を図っていく。

【肯定的な意見の割合】※ ・・・過去10年で**最高値**、 ・・・過去10年で**最低値**
赤文字・・・昨年度より**増加**、青文字・・・昨年度より**減少**

アンケート	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)
生徒	82%	87%	76%	87%	82%	76%	83%	80%	79%	72%	66%	70%	82%	80%	76%	
保護者	93%	80%	80%	87%	90%	80%	87%	73%	87%	87%	60%	67%	73%	77%	87%	67%
教員	80%	80%	70%	100%	100%	90%	90%	90%	100%	90%	60%	40%	80%	60%	100%	60%

(1)立高生活は生徒にとって有益(2)立高生活は充実(3)立高は他校にはない特色がある(4)分かりやすい授業(5)教員は疑問や質問に的確に対応(6)家庭との連携(7)気軽に相談でき、対応する(8)進路についての情報提供(9)一人一人を大切にされた進路相談の充実(10)学校行事は生徒にとって有益(11)生徒会活動が活発(12)部活動の充実(13)適切な安全に関する指導(14)施設・設備の充実(15)体罰や暴力をなくす取組(16)ライフ・ワークバランスの推進